

「小さなハードのまちづくり」のイメージを市民に伝えるツールの作成について

1 目的

「評価書」(H27)において、「まちづくりに不慣れな市民は、地域の課題などを具体的なまちづくり事業や活動に結び付けることが難しいため、初動期の支援業務の充実化を期待する」とのご意見をいただきました。

そこで、地域の課題解決や魅力の向上に資する小さなハード整備によるまちづくりのイメージを伝える事例集を作成し、初動期の支援や関係区局による市民への情報提供に活用します。

2 対象

- ・自治会・町内会やすでにソフトな活動に取り組んでいる地域活動団体などの担い手
- ・ハード整備を伴うまちづくりに関心がある人
- ・中間支援組織の担い手（まちづくり支援団体、社会福祉協議会、地域ケアプラザ等）
- ・横浜市職員（地域支援に関わる区局担当者、土木事務所等）

3 作成方針

- ・これまで横浜市内で行われてきたハードの整備の事例を紹介することで、「一步踏み出せばできそう」と思ってもらえるきっかけづくりとします。
- ・掲載事例は、既存発行物（まち普請事例集、地域まちづくり白書等）で掲載されている事例からピックアップし、事例の詳細を知りたい人をそれらの発行物やホームページへ誘導します。
- ・写真を多く使用し、視覚的に訴求して「面白そう」と感じてもらい、ハードの整備によるまちづくりの効用が伝わりやすいようにします。

4 名称案

まちづくりカタログ

5 内容・構成

(1) 仕様

1 事例につき A 4 版両面

(2) 事例記事について

- ・記事本文では、事例に固有のエピソードではなく、他の地域や団体などでも参考にできるよう、普遍的な整備の内容を以下の項目で整理します。
 - 「課題・背景」…市民が認識していた課題や魅力、地域特性など
 - 「はじめの一步」…活動初動期の状況や相談窓口など
 - 「整備内容」…整備したハードの内容と整備方法など
 - 「効果」…整備により得られた効果、ソフト分野への波及効果など
- ・写真のキャプションには、固有の地域性や活動の様子を記載します。
- ・データ欄を設け、住所や公共交通機関からのアクセスなどの地域特性、費用や施工期間、整備主体・運営、完成年、出典について記載します。
- ・事例を「交流」、「安心」、「安全」、「魅力」、「その他」の5つのカテゴリに分類し、テーマカラーを設定します（複数カテゴリに当てはまる場合もあります）。

(3) 29年度掲載事例（案）

種別	事例・施設名（区）	カテゴリ
① 交流拠点	CASACO（西区）	交流
② 交流拠点	ジュピのえんがわ（金沢区）	交流
③ 交流拠点	サロン庄戸（栄区）	交流、安心
④ 交流拠点	ハートフルポート（旭区）	交流
⑤ サイン	美晴台内の愛称入り案内板と複合コミセン整備事業（港南区）	安心、交流
⑥ ベンチ	小さないす大作戦（鶴見区）	安心
⑦ 防災備蓄倉庫	まちの防災拠点づくり（神奈川区）	安全
⑧ 防災小屋	不便な盆地も雨水・湧水で大変身！（西区）	安全
⑨ 歴史案内板	てらお奉行プロジェクト（鶴見区）	魅力
⑩ 花壇	中川駅前中央遊歩道ルネサンスプロジェクト（都筑区）	魅力
⑪ 花壇	白根第九地区自治会の地域緑のまちづくり（旭区）	魅力

6 活用方法

- ・5つのカテゴリに対応してPDFデータをホームページ上で公開します。
- ・市民からの相談時や出前講座、研修などのあらゆる機会を通じて、印刷して持参します。

7 30年度以降の作業

- ・職員により記事を作成し、掲載事例を増やしていきます（年5～10件程度）。
- ・目次や検索機能の改良を進めます。